



遠藤れい子ひまわりレポート

○遠藤れい子事務所 〒940-0052 長岡市神田町3-1-3
☎ 0258-32-1741 fax 0258-32-6443



原発ゼロに

～人々の命と生活と尊厳、平和と民主主義を守り、望ましい社会を実現していく～

希望の明日を日本共産党とともに

7月15日、日本共産党は党創立104年を迎え、18日、記念講演で田村智子委員長は、「歴史の岐路、希望の明日を切り開く生き方を」と訴えました。



7/18 田村智子委員長が「希望」を語る

戦後81年間世界が歩んできた道、日本が歩んできた道、どちらも大きな分かれ道―歴史の岐路にさしかかっています。どういう道を選び、切り開くのか問われる、とても大切な時代を私たちは生きています。

1. 国連憲章をめぐる岐路

第一は、世界の岐路―国連憲章にもとづく平和の国際秩序をつくる道を歩むのか、それとも形骸化を許し

てしまうのかという岐路です。国連憲章は、2度にわたる世界大戦の悲惨な体験から、1945年に生まれました。その大原則は、紛争の平和的解決であり、理想としたのは「戦争のない世界」です。

ところが、無法な戦争によつて国連憲章にもとづく秩序が揺らいでいます。ロシアのウクライナ侵略、イスラエルのパレスチナ・ガザへのジェノサイド、米国トランプ政権によるベネズエラ攻撃とイラン戦争です。

最悪の破壊者は、トランプ大統領です。「私には国際法は必要ない」「私を止められるのは私自身だ」とまで公言して、第2期トランプ政権発足以来、ソマリア、イラク、イエメン、イラン、シリア、ナイジェリア、ベネズエラに軍事介入し、今年2月のイラン戦争へと突き進んでいるのです。

2. 日本国憲法をめぐる岐路

今年は憲法公布から80年の節目です。憲法9条を壊

してしまうのか、それとも憲法9条を生かして平和をつくる道を歩むのか―まさに日本は戦後最大の歴史的岐路に立っています。

高市政権の「戦争する国づくり」に立ち向かう、新しい市民運動が沸き起こっていることは日本の政治にとつての大きな希望です。

3・大企業中心が行き詰る

「物価高で暮らしたいへん」。ストリート対話でまず出てくるのが、この声です。

①消費税を一律5%に引き下げる恒久的減税、②賃上げの流れを止めない、③社会保障の改悪中止などを直ちに実施することです。

4. 資本主義と言うシステムをこのまま続けていいのか

資本主義の深刻な矛盾は世界中で明らかです。「人間の自由」が豊かに花開く未来社会への展望を持つ生き方を切り開きませんか。

5. 日本共産党への入党を呼びかけます

7月20日、日本共産党演説会「遠藤れい子とペンライトフェス」が開催され、400人を超える入場者と478人のオンライン視聴がありました。



7/20 小池晃さんを囲んで

【速報】遠藤れい子とペンライトフェス



遠藤れい子と小池晃さんのトーク

小池晃参院議員が国会報告。その後、遠藤れい子とトークセッション。国政も県政もジェンダー平等を進め県政を変えるために、遠藤れい子と市議選での勝利を訴えました。